

ニューソフィア

# New Sophia

72号

[Vol. 19-4]

福岡歯科大学は「口腔医学」を推進しています

Featuring News

東日本大震災被災地の

歯科医療救護活動に参加

2



早良区板屋地区で健康診断を実施

TVニュースで放映!

2

College News

第43回全日本歯科学生総合体育大会結果

3

上海交通大学口腔医学院の学生訪問団来学

3

歯学から口腔医学へー口腔医学の学問体系の確立に向けてー

4

「口腔医療センター」を開設します。

5

Seasonal Topics

理事長に田中健藏氏を再選、  
学園の役員・評議員を改選

6

The Campus' People

眼科 川野教授インタビュー

7

新任昇任教員紹介

7

Event Report

短大歯科衛生学科3年生激励会

8

From The Alumni Association

同窓会だより

9

Hill From Clinic

西耕作歯科(福岡県福岡市)

10

医療法人三箇歯科医院(福岡県北九州市)

10

Message From Students & Parents

学生と保護者様からのメッセージ

11

Information

平成24年度入試日程/オープンキャンパス

12

救護活動

# 東日本大震災被災地の 歯科医療救護活動に参加



南三陸町志津川地区

の施設などの避難所やデイケア、グループホームなどを訪問し、歯科検診を中心に義歯調整や清掃指導、口腔機能訓練、口腔ケア等の歯科医療救護活動を実施し、さらにその後、仮設住宅を訪問し歯科相談を受けました。仮設住宅に移り住む方が増えて避難所は閉鎖傾向ですが、残っている避難所は近隣市町村の広範囲に点在することになり、現地の歯科スタッフは訪問だけでも大変だということでした。

**日** 本歯科医師会からの要請により、7月3日から11日までの9日間、福岡学園より歯科医師 廣藤卓雄（福岡歯科大学 総合歯科学分野 教授）、歯科衛生士 堀部晴美（福岡医療短期大学 歯科衛生学科 教授）、歯科衛生士 上村吏絵（福岡歯科大学医科歯科総合病院）、歯科衛生士 的野操（介護老人保健施設サンシャインシティ）の4名が、宮城県南三陸町に赴きました。

この南三陸町は、宮城県北東部で太平洋に面しており、津波による大被害を受けて、歯科医院も6軒流され歯科医も亡くなられたとの事でした。現地の歯科医師、歯科衛生士のコーディネートの一環で、南三陸町の施設、小・中学校、老人施設、ホテル、近隣の登米市

被災地では町行政そのものが消失しており歯科医療のみならず全てが再建途中との感じでしたが、被災地の方は、できることから皆さんが率先して頑張っておられました。我々も、一人の故障者も出さずに、無事に任務を完了できました。今回の経験は、我々にとって大変貴重なものになったと思えますし、改めて我々も頑張らなければという気持ち強くしました。



避難所における歯科救護活動

「がんばれ宮城！  
がんばれ東北！  
がんばれ日本！」

【南三陸町の被害状況】

- 1万7千人の人口のうち人的被害は6月時点で死者・行方不明者1,200人超
- 町内の避難者2,700人
- 町外および県外への避難者1,800人余り
- 建物被害は全壊3,166棟 大規模半壊91棟 半壊54棟で、被災率61.1%

健康診断

# 早良区板屋地区で 健康診断を実施

7月13日、本学の高齢者歯科学分野が早良区の地域保健福祉課と合同で健康診断を実施しました。



2名、医師1名、看護学生2名の計18名で板屋地区の住民23名を対象として、口腔検診や口腔機能検査及び血圧測定、栄養指導等健康調査を実施しました。健康調査を受けた住民の方からは、「診てもらえて安心した」「町に出るまで片道千円、2時間かかるから、病院に行くのも1日ばかり。来てもらえて本当に助かる」と言った感謝の声が多く寄せられました。また「長生きの世界記録を作るのが夢」と本当に元気な方が多いのがとても印象的でした。

板屋地区は、福岡市の南、福岡県最高峰の脊振山（1055m）の腹に位置し、地域住民31名のうち65歳以上の住民が64%を占めている山間の小さな集落です。板屋地区までのバスは2003年に廃止となり、現在は公共交通機関による往来は不可能なうえ、最も近い診療所まで10キロ以上と、生活する上で便利とは言い難い地区です。高齢者が安心して暮らせるような医療の確保と予防などの保健事業の展開等に必要な支援について検討するため、本学の内藤徹准教授（高齢者歯科学分野）と早良区地域保健福祉課の保健師を中心に板屋地区の高齢者の支援事業に2010年5月より取り組んできました。

毎月1回板屋地区を訪問し、健康教室を開催したり、聞き取り調査を実施したりと地域住民との交流を深め、地域住民との相互理解も深まってきたことから、今回の健康診断を行う事ができました。今回は、本学から歯科医師10名、早良区から保健師3名、栄養士

「早良区の保健福祉課から板屋地区の保健事業の話が来たときには、福岡市の中にこんな地域があったのかとびっくりしましたが、ここで生まれ育った方たちにはかけがえのない場所でしょう。地域住民の健康の支えになればありがたいと思います。」というのは、健診を担当した内藤准教授の弁。健診の結果を、住民の健康指導に反映させ、さらに同様な医療過疎を迎えつつある他の地域のモデル事業となればありがたいことだと思えます。

なお、この健康診断の様子には、地元福岡のニュースとしてテレビでも取り上げられました。



テレビ局からインタビューを受ける内藤先生

# 第43回全日本歯科学生総合体育大会結果

第43回全日本歯科学生総合体育大会夏期部門(事務主管 日本歯科大学)が、7月30日から8月11日にかけて東京都を中心に各地で開催されました。

本学はバレーボール女子が優勝して、バレーボール部門で準優勝となったほか、バスケットボール女子が準優勝、剣道女子個人が準優勝、空手道が男子新人戦で優勝するなど優秀な成績を収めました。なお、第43回歯学体は東日本大震災の影響により総合順位は付与しないこととなりました。各クラブの成績は下表のとおりです。

部門名	順位	
バレーボール	準優勝(同率)	女子/優勝
バスケットボール	3位	男子/3位 女子/準優勝
硬式庭球	3位	男子/3位 女子/6位
ラグビーフットボール(冬季部門)	5位(同率)	—
剣道	5位	女子個人/準優勝 男子個人/5位 男子個人・初、無段の部/9位
ボウリング	5位	団体Aチーム/4位
ヨット	9位	—
ゴルフ	7位	—
空手道	順位確定外	男子新人戦/優勝
水泳	順位確定外	女子50m背泳ぎ/2位 女子50m自由形/5位 混合200mオープンリレー新人戦/5位 男子50m背泳ぎ新人戦/6位 女子50m平泳ぎ新人戦/6位
柔道	順位確定外	—
硬式野球	順位確定外	—
サッカー	順位確定外	—
弓道	順位確定外	女子個人/8位
バドミントン	順位確定外	男子団体/16位 女子団体/16位 女子シングルス/16位 女子ダブルス/16位 男子シングルス/32位
ボクシング	団体戦 優勝	オープン競技/最優秀選手賞



バレーボール



ボクシング(オープン競技)



バスケットボール



硬式庭球



ラグビーフットボール(冬季部門)



剣道



ボウリング



ヨット



空手道



水泳



柔道



硬式野球



サッカー



弓道

今年3月に上海を訪れた本学学生は、再び、時間の許す限り上海の学生と行動を共にし、交流を深めていました。この交流の輪は訪問した学生のみならず他の学生にまで広がっており、学生間の交流は年々深まっています。

5人の学生は、保存科、補綴科、口腔外科、小児歯科、矯正歯科の病院実習に参加するとともに、基礎系・臨床系講義、インプラント模型実習を受講しました。また、2人の先生には、学内で講演をして頂きました。帰国する前日には唐津観光やショッピングを楽しみ、18日に無事帰国されました。

上海交通大学口腔医学院の学生訪問団が、9月11日から8日間、本学を訪れました。本学との学生交流は、2006年から毎年行われ今年で6回目になります。東日本大震災および福島原発の影響で来学の取り止めも懸念されましたが、上海交通大学口腔医学院関係者のご尽力により、当初予定していた4月を延期し来学されました。

**学生交流**  
上海交通大学口腔医学院の  
学生訪問団来学



口腔医学

# 歯学から口腔医学へ

## 口腔医学の学問体系の確立に向けて

**超** 高齢社会が進行する我が国において、高齢者の健康保持やQOLの向上に大きな役割を果たす口腔疾患の予防や診療、口腔ケアを実践できる歯科医師の必要性は今後急速に高まるものと予想されます。

近年、糖尿病と口腔病変、歯周病と急性心筋梗塞との関係など、口腔領域の疾患と多くの全身疾患との関連性が明らかになる中、何らかの疾病に罹患していることが多い高齢者の口腔疾患を診断・治療するためには、口腔に関する高度な専門知識の修得とともに、全身に関する基本的な一般医学教育の履修が不可欠となっています。

このような社会環境や医療環境の変化を踏まえ、これまでの単に歯とその周囲組織を対象としていた従来の歯学の概念を改変し、口唇、口腔粘膜、舌、唾液腺、口蓋、顎、顎関節など、口腔を身体の一つの臓器と位置づけ、歯学教育の高度専門化とともに一般医学教育を充実させた「口腔医学」の学問体系を確立することは、次代を担う口腔専門医を育成するうえで大変重要なことです。全身との関係を踏まえて口腔の健康管理を実践できる口腔専門医の育成は、国民の健康維持・増進を考えるうえで軽んずることができない喫緊の課題であり、将来その重要性はますます高まるものと思われます。歯科医学、歯科

### 8 大学連携事業

文部科学省・平成20年度戦略的大学連携支援事業の選定を受け、本学を代表校として、福岡大学、九州歯科大学、

医療の将来を見据え、社会の多様なニーズに適切に対応するためにも、口腔医学の学問体系を確立することが必要なのです。

昭和大学、鶴見大学、神奈川歯科大学、岩手医科大学及び北海道医療大学の全国7大学と連携し、「口腔医学の学問体系の確立と医学・歯学教育体制の再考」に取り組んでいます。この事業では、平成22年度からTV授業システムを利用したTV配信授業「医歯学連携演習」を実施するほか、一般医学・基礎医学のモデルシラバスの作成等を行って、口

腔疾患と全身疾患との関連について十分な知識を持ち、口腔疾患の予防・治療ができる医療人の育成を図るとともに、国際口腔医学シンポジウムを開催するなど、国際的な視点から口腔医学の位置づけを確認しています。また、新聞に全面広告を掲載するなど、広く一般に口腔医学への理解を深める取組みも行っていきます。

新聞全面広告



国際シンポジウム



TV授業「医歯学連携演習」

口腔医療センター

# 口腔医療センターを開設します。

歯科医学の教育研究、歯科医師の資質向上、病診連携、地域の歯科医療への貢献等を推進するため、平成23年12月(予定)、福岡市博多区博多駅前福岡歯科大学口腔医療センターを開設します。



口腔医療センター長  
松浦 正朗 先生

口腔医療センターについて、初代センター長に就任される松浦正朗先生にお話をうかがいました。

基本的にどのような性格の施設となるのでしょうか？

周囲の歯科診療所と協力し合えるというコンセプトで、大学病院でないという難しい部分を担うという形で展開を考えています。例えば口腔外科や口腔内科の治療とか、口臭治療、スポーツ歯科、歯科心身医学的な治療などですね。それからインプラントなどで外科的に難しいケースなども積極的に受けていきたいと思っています。

口腔医療センターにない診療科と連携が必要な患者さんには

どのように対応されるのでしょうか？  
大学に各科の専門医がいますので、

大学の方から時間を区切って助っ人と呼んで、特殊外来という仕方に対応してゆけば、幅広く対応できると思うので、どんな患者さんが紹介されてきても大丈夫です。

口腔医療センターは博多駅のすぐそばですが…。

そうですね。九州新幹線も開通したので、福岡県内だけでなく、九州全域から患者さんは来れるようになると思うんです。それから、卒後研修とか臨床研修コースとか内容を充実させていきたいと思っていますが、そういうのを受講する際にも便利です。

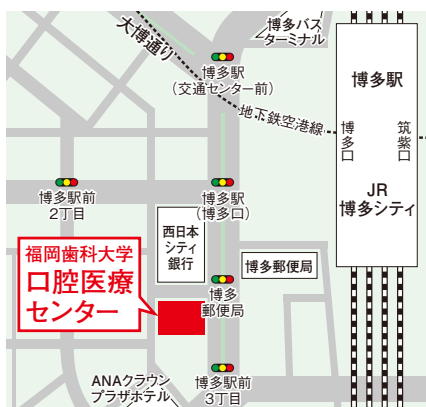
今、口腔インプラントの臨床研修コース中級で、受講している先生が自分の診ている患者さんと一緒に来てもらって、自分の患者さんを実際に治療するという講習をやっているんですが、そういう講習を博多駅のすぐ近くでやれば、受講する先生も患者さんもとて来やすくなりますよね。

それから、ユニットで行っている治療を研修室でリアルタイムで見れるようなビデオシステムを導入します。臨床研修で強力な武器になると思っていますよ。楽しみにしていて下さい。

今日はお忙しいところ、ありがとうございました。

## 口腔医療センターの概要

- 所在地:福岡市博多区博多駅前3-2-1  
日本生命博多駅前ビル1F(JR博多駅から徒歩3分)
- センターの名称:福岡歯科大学口腔医療センター
- センター長:松浦正朗(前福岡歯科大学医科歯科総合病院院長)
- 開設予定:平成23年12月
- 施設・設備等:カンファレンスルーム(収容人員30名)・  
カウンセリングルーム各1室、  
デンタルユニット16台、特別診療室1室、  
手術室2室、X線装置(デンタル・パノラマ・CT)



外観イメージ

役員改選

# 理事長に田中健藏氏を再選、学園の役員・評議員を改選

任期満了に伴う福岡学園の理事・監事・評議員の改選が7月19日および8月3日に開催された理事会、評議員会で行われました。理事長には田中健藏氏が、常務理事には水田祥代氏および本田武司氏がそれぞれ選任されました。8月3日以降の新役員体制は次のとおりです。

- 【理事】(12名) 田中健藏、水田祥代、本田武司、北村憲司、栢豪洋、荒川規矩男、宮口巖、小島寛、厚谷彰雄、田代英雄、大石秀雄、長谷宏
- 【監事】(2名) 安倍徹、長友泰明
- 【評議員】(27名) 田中健藏、北村憲司、栢豪洋、小島寛、厚谷彰雄、香月俊博、本山久美子、石橋慶憲、水田祥代、本田武司、中島興志行、中山宏明、池邊哲郎、荒川規矩男、田代英雄、大石秀雄、長谷宏、染矢廣美、朔啓一郎、前原喜彦、松田峻一良、熊澤榮三、宮口巖、武井俊哉、吉田公典、高橋裕、松浦正朗

## 青野常務理事ご退任

青野一哉常務理事が8月2日付で退任されました。青野常務理事は昭和53年4月福岡歯科大学教授に就任後、平成9年から2期6年にわたって福岡歯科大学長として、平成15年から常務理事として、本学園の発展に尽力されました。



**メッセージ**  
昭和53年4月以来、33年5カ月にわたり、田中健藏理事長はじめ皆様から、ご指導とご支援をいただき大変ありがとうございました。  
今後、福岡学園全体のさらなる発展と皆様のご健康とご活躍を祈っております。

## 水田理事(前客員教授)が常務理事に就任

8月3日の理事会で、水田祥代理事(前客員教授)が常務理事に選任されました。任期は平成23年8月3日から平成26年8月2日まで。同氏は平成20年4月本学客員教授に就任、平成22年から本学園の理事・評議員も務められています。



**メッセージ**  
このたび常務理事を拝命いたしました。微力ながら福岡学園の益々の発展、とくに福岡歯科大学がフロントランナーである口腔医学の学問体系の確立へ向けて努力したいと思いますので、ご指導ご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

## 青野一哉常務理事への送別の辞

青野先生は、昭和53年4月に福岡歯科大学麻酔学の教授としてご着任以来、教授として18年10月、その後、平成9年2月から6年間福岡歯科大学長、学長任期満了後の平成15年2月から常務理事として8年7月の計33年5月の永きに亘り、教育・研究・診療、そして法人の管理運営に大変ご尽力を頂きました。

教授時代には、麻酔・全身管理の知識と技術を有する歯科医師の育成に努められるとともに、周術期の代謝、交感神経系の反応および輸液管理の研究を通して医学、歯学の発展に寄与され、多くの日本歯科麻酔学会認定医を育てられました。また、平成6年4月から約3年の間、情報図書館長を務められ、学内LANの導入並びにホームページの製作にも力を注がれて、今日の情報環境の基盤を築いて頂きました。

福岡歯科大学長在任中は、カリキュラム改革、国家試験対策、学生指導などの歯学教育改革を率先して推進され、歯科医師国家試験合格率の上位定着に多大な貢献をされたほか、教員組織改革として、従来の教養、基礎、臨床の枠組みを取り払い、より効果的、効率的な6年貫の教育環境の実現を目指した組織づくりに取り組まれ、平成13年4月からの大講座制移行を成し遂げられました。また、平成9年4月の福岡医療短期大学の開学に当たっては、初代学長を兼任され、先導指揮をとって運営の円滑化を図り、保健福祉学科増設にも手腕を発揮されるなど、大変感謝をいたしております。

これらのご功績を振り返りますと、何れも今日の学園にとっては欠くことの出来ない取り組みであり、先生の高い見識と着実な実行力、そして誠実なお人柄があったからこそ成し得たものと心から敬意を表し、感謝を申し上げる次第です。

学園の将来の発展を願い、社会の要請に応えることの出来る有能な人材育成を目指して、共に数多くの困難を乗り越えてきましたことが、大変懐かしく思い出されます。

そのような博學多才な先生が学園から去られることに大きな寂しさを拭えませんが、今後とも奥様ともどもご自愛のうへ、益々ご健勝にてご活躍になることを心より念じて、送別の言葉といたします。

青野一哉先生、永い間本当にありがとうございました。

学校法人福岡学園

理事長 田中健藏



インタビュー

# 福岡歯科大学医科歯科総合病院の眼科に4月に 就任された川野庸一教授にインタビュー

▼こちらに來られる前のご経歴を  
教えてくださいませんか？

九州大学医学部を卒業して、生体防御医学研究所で博士号を取得しました。NIHでの2年間の留学を終えて、九州大学医学部眼科で診療・研究に従事しました。平成14年からは9年間、浜の町病院に赴任しまして、一般的な眼疾患の治療はもちろん、若い先生達の指導にもあたってきました。重症ぶどう膜炎、眼科領域の腫瘍などについては、特に専門としてやってきました。

▼ご出身は、福岡ですか？

小さい頃は、東京にいたこともありましたが、中学からはずっと久留米、福岡で過ごしました。現在は、実家も福岡のほうに移ってきています。現在は、東区に住んでいますが通勤には、ちょっと遠いですね(笑)。

▼どうして眼科を専攻されたのですか？

そうですね。ずっと手術がある外科系をやりたいと思っていました。でも周囲から「外科に向いて

ない」と言われてましてね(笑)。

学生時代の眼科の講義の中で、当時では最先端の顕微鏡で行う手術をビデオで見せて下さる先生がいらして、特に当時ではまだ珍しかった硝子体手術などもやっておられて、大変興味を持ったと同時にこれは向いているかな、と思いついて。

▼眼科は器用さが必要かと思うのですが、細かい作業とかは好きだったんですか？

小さいころから、プラモデルを作ったりすることは好きでした。それもあつて手術をしたりする分野に興味を持ったと思います。

▼今後の展望をお聞かせ下さい。

まずは、臨床をしっかり充実させたいと思っています。眼科は新設ということもあつて、最新の設備が整っていますので、大変やりやすく感じています。もつと眼科をアピールしていきたいですね。歯科医師になる学生への教育については、経験がありませんので、全身を対象とする口腔医学における眼科学の関わり方について色々と考えている段階です。

## 《インタビュー後記》

じっくり相手の「目」を見ながら、優しくお話ししてくださいました。そこに甘えて、インタビューの二人(♀/middle age)は、最近の自分たちの老眼事情などもエクストラで相談させていただいたりしました。川野先生、ありがとうございました。

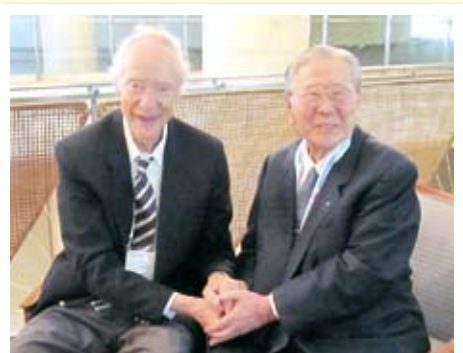


川野 庸一 教授



## 田中理事長、デイビー教授と再会

京都で7月23日から開催された第23回国際血栓止血学会に田中健蔵理事長が参加されました。この学会には、田中理事長と共に平成20年に出版した「Recent Advances in Thrombosis and Hemostasis 2008」の著者であるワシントン大学生化学分野のE.W.デイビー教授も参加され、久しぶりの再会を喜び合いました。



## ■ 新任教員紹介

### 山下 善弘 准教授

口腔腫瘍学分野

《略歴》九州歯科大学歯学部卒。同大学口腔外科・助手、講師(旧 第二口腔外科)オーストリア共和国Graz大学口腔顎顔面外科学講座留学、九州歯科大学口腔顎顔面外科学講座形態機能再建学分野・准教授を経て、平成23年9月1日福岡歯科大学口腔顎顔面外科学講座口腔腫瘍学分野・准教授。福岡県出身。

《メッセージ》  
臨床ではこれまでに主に悪性腫瘍の手術および再建手術を行ってきました。これからも臨床、教育、研究とがんばりたいと思います。



## ■ 昇任教員紹介

### 萩家 康弘 准教授

口腔顔面美容医療センター

《略歴》近畿大学医学部卒業。同大学大学院医学研究科生理学系博士課程修了。近畿大学医学部付属病院形成外科助手、非常勤講師、平成7年萩家整形外科(美容外科)開業、福岡大学医学部形成外科助教、福岡歯科大学 口腔顔面美容医療センター・形成外科講師を経て、平成23年9月16日同大学 准教授に昇任。博士(医学)。兵庫県出身。

《メッセージ》  
形成外科を基礎とした美容外科医の道を歩んで参りました。形成外科は顔面を扱うことが多く歯科との連携が不可欠です。福岡歯科大で医科とは異なる発想で美容医療に取り組めることが楽しく、アンチエイジングを取り込んだ教育や研究に精進致したいと考えております。



### 徳本 正憲 准教授

内科学分野

《略歴》九州大学医学部卒。九州大学大学院医学研究科病態機能内科学医学専攻博士課程修了。九州大学病院病態機能内科学助教、Washington University School of Medicine留学。福岡歯科大学内科学分野講師を経て、平成23年9月16日より同准教授に昇任。博士(医学)。福岡県出身。

《メッセージ》  
これまでの経験を生かし、多くの患者さんに還元できる研究、きめ細やかで親切丁寧な診療、全身を管理できる歯科医師の育成を目指して頑張りたいと思います。よろしくお願いたします。



納涼祭 サンシャインシティ納涼祭

介護老人保健施設サンシャインシティの納涼祭が8月7日に行われました。

江戸芸かっばれ、ひょっとこ踊り、総踊りなどが披露され、利用者やご家族、ボランティアの方々や職員などが多数参加し、楽しい時間を過ごしました。



セミナー 先端科学研究セミナー

8月2日、本館8階801講義室において先端科学研究セミナーを開催しました。

細胞周期の調節や多能性幹細胞の分化誘導において先駆的な研究を行っている九州大学の関口博士、北九州市立大学の日高博士より講演を行って頂きました。

細胞周期の制御機構  
—温度感受性変異株を用いた解析

多能性幹細胞からの  
心筋細胞の分化誘導



関口 猛 博士  
(九州大学・医学系研究科)



日高 京子 博士  
(北九州市立大学・教授)

講義 大学院特別講義

7月4日、本館8階801講義室において、ボストン大学L.Lee Chou 教授による大学院特別講義「HIV-Associated Oral Lesions and Dental Managements」が開催されました。また7月11日、本館5階504講義室において、コーネル大学Eric Alani 教授による大学院特別講義「Understanding Early Steps in DNA Mismatch Repair」(DNAミスマッチ修復 初期過程の解析)が開催されました。大学院生はもとより、教員も熱心に耳を傾けていました。



ボストン大学 L.Lee Chou 教授



コーネル大学 Eric Alani 教授

研修 6学年が東林寺で座禅

東林寺(福岡市博多区)において、7月15日、福岡歯科大学第6学年を対象とした梅田泰隆住職による講話および座禅を実施しました。

参加学生等は、2グループに分かれ、それぞれ約80分間の研修を受けました。

今回の講話および座禅研修は、参加した学生にとって、国家試験に向けての自己啓発の場となりました。



激励会 短大歯科衛生学科3年生激励会



短大1階コミュニティーホールにおいて、7月13日、歯科衛生士国家試験を受験する歯科衛生学科第3学年の激励会が行われました。ホームヘルパー2級修了証授与の後、田中理事長から激励の言葉を頂き、第3学年を代表して、青山理恵さんが受験への決意とお礼の言葉を述べました。

夏祭り 田新町夏祭り盆踊り大会に福岡歯科大学学生が出演

毎年恒例となった田新町夏祭り盆踊り大会に、7月30日、福岡歯科大学学術文化部会のミュージックアソシエーションが参加し、バンド演奏で夏祭りを盛り上げました。



論理と感性の調和

科学の発展は、「論理的」・「分析的」な思考体系に負うところが多いと思いますが、一方で私達は、真実は言語の中には納まらないという考えに常に惹きつけられています。「論理的」・「分析的」といういわば西洋的な体系と東洋的な「感性的」・「共生的」な体系

の調和が必要であると言われても、そもそも「論理的」なものや「感性的」なもの、「分析的」なことと「共生的」なことに調和が成立するのかということもわかりません。この文章そのものが、すでに「論理的」であることに偏った展開をしていることに気付かれます。人は言語を要しない個人的なレベルではまさに「感性的」・「共生的」であるから人であると

言えるのかもしれませんが。しかしそれと同時に、「論理的」・「分析的」な言語的思考と「感性的」・「共生的」な非言語的思考を「感性的」に共存させているから存在することが可能なのだと思います。「社会の中で人は生きる」ことからすると、日本では、「論理的」な社会に人を受け入れるのではなく、社会自身も「感性的」になる必要があると思います。



# 福岡県北同窓会

## 学術講演会

明日から使える歯科漢方

石本 圭(16期)

平成23年4月23日(土)午後4時

より、北九州市のホテルクラウンパレス北九州にて、福岡歯科大学福岡県北同窓会の第32回定期総会、学術講演会、懇親会が開催されました。東日本大震災後、1ヶ月あまりしか日が経ってないにも関わらず、多くの先生方に参加して頂き、誠に有り難うございました。

学術講演会には、講師に福岡歯科大学18期卒、北九州市小倉で開業されている重住大乗先生をお招きして「明日から使える歯科漢方〱不定愁訴、神経痛、歯科心身症(口臭症)、顎関節症の対応など」という演題で講演して頂きました。主な講演内容としては、我々の歯科領域の診療において、西洋医学では診断治療しきれない不定愁訴、神経痛、不安口臭症などの壁に当たった時、多少の東洋医学的な診断治療を行うことができれば症状の寛解、改善はそんなに困難な事ではないというもので、その中でも今回は、口臭に不安のある不定神経症、神経痛、などの症例を交えながら日常臨床で明日から即使える漢方処方、ハリ治療などについて詳しく講演して頂きました。今回福岡県北同窓会では、著名な先生を招いてではなく、当同窓会の中で、現在頑張っている若手の同窓生に講演をして頂く

と考えました。歯科の日常臨床では、まだメジャーにはなっていませんが、重住先生の東洋医学への着目には、多くの先生方が興味を示し、参加者も50名ちかく集まり、あつという間の1時間で学術講演会は大盛況のうちに終了致しました。

福岡県北同窓会は、韓国慶熙大学校歯科大学同窓会仁川支部と国際交流を行っており、今年も当同窓会総会懇親会出席の為、4名の先生に來日して頂きました。私も去年訪韓し、数件の歯科医院を見学させて頂きました。韓国の歯科医療のレベルに驚かされました。今後アジアでの学術の発信基地の一つになれるよう努力していきたいと思っております。

重住大乗先生にはご多忙の中、貴重な講演をして頂き、誠に有り難うございました。



### 卒業生NOW

#### この1年

水流 裕二郎 (3期)

同窓生の皆様、如何お過ごしでしょうか。

今年は、大震災、ゲリラ豪雨と日本にとって大惨事の年となりました。被災された方々には、心よりお見舞い申し上げます。

私の住む小林市でも、1月に新燃岳の大噴火が起き、空振と噴石の恐怖を味わいました。

同窓生から頂いた見舞いの電話やメールには感謝感激でした。幸い大した被害はありませんでしたが、また何時噴火するか解らない状態で、小学生もヘルメットを被っての登校が続いています。新燃岳は宮崎と鹿児島との県境にまたがる霧島連山のひとつで、隣に高千穂の峰があります。龍馬伝で、天の逆針を突き刺すシーンがあった所です。(これがマグ



マを刺激した?) 焼酎霧島のラベルにもなっていますが、登山の名所で、私も噴火の1ヶ月前に登りました。40歳から、マラソンやトライアスロンに挑戦した事もありましたが、目先を変えて、山登りを始めようと思ったのは自然を満喫しながら健康にも良く、山ガールに出会える期待もちょっと。しかし、噴火で一帯が立入禁止となり、霧島縦走が実現できていません。そのストレスからか最近「中年うつ」かと思う事も。災害の津波と寄る年波には勝てないと実感した年でした。そんな中、尾崎教授昇進祝賀会を兼ねた3期生の同窓会に出席できた事は、久々に過ごせた楽しい時間でした。還暦まであと5年。次の同窓会も楽しみにしています。



### 同窓生からの手紙

#### 福岡県西同窓会の学術事業について

福岡県西同窓会 学術常務理事  
本部同窓会 学術理事

枋 浩一 (3期)

福岡県西同窓会(以下、西同窓会)の学術事業は学術講演会と小歯学懇話会を開催しております。西同窓会は大学のおひざもとで、大学に患者さんを紹介する事が多いため、大学との関係を重視しております。それで学術講演会の講師には福岡歯科大学の先生をお願いしております。教授に就任される先生は他大学出身の方が多く、どのような分野が得意なのか等の情報が少ないので学術講演会の講師をお願いし、講演後に懇親会を行い西同窓会として親交を深めております。

小歯学懇話会はスタディーグループの勉強会の様な雰囲気、すぐに役立つような身近なテーマで行っております。最近では医療保険関係、ファイバーポストコアの作製法、口腔内写真の撮り方などを行いました。

また本部同窓会の学術からのお知らせもさせて頂きます。11月6日に行われます本部の第25回学術講演会の案内が同窓会会員の皆様が届いていると思います。今回はインプラント治療で高名な林 揚春先生に「患者が望むインプラント治療について」と、関西大学教授で弁護士の若松陽子先生に「実例をもとに医事紛争における注意点と解決方法」をご講演していただきます。若松先生は歯科の医事紛争に非常に詳しい方で、福島第一原発事故のように事故を100%防ぐ事は出来ませんので、それに備えておく事も大切かと思ひ企画しました。是非ご聴講をお願い致します。

# One For All All For One

西耕作 (15期生 / 西耕作歯科(福岡県福岡市))



歯科治療はチーム医療ですので、スタッフとの意思の疎通がとても大切になります。お互いに意見交換をし、新しいトピックスを取り入れながらも、地域に根付いた診療を心がけております。

部活動で培ったOne For All All For Oneの精神を忘れずに、チーム西二丸となつて、明るく楽しく頑張っています。今を一生懸命に生きることの大切さ、思いやりを持つことの大切さなど、日々の診療で学ぶことは沢山あります。

3月11日の東日本大震災で、歯科界でも休診・計画停電等、余儀なくされた先生方もいらっしゃるなか、いつもと変わらない生活ができることに感謝し、より一層精進していかなければならないと身の引き締まる思いです。

患者さまがより豊かな人生を送ることができるよう手を差し伸べ、日々努力していきたいと思っております。

最後に、皆様のご健康とご活躍を心よりお祈り申し上げます。

**「ありがとう」の気持ちを忘れずに皆**  
 様はじめまして。15期生の西耕作と申します。卒業して19年、郷里鹿児島のかたごの歯科で勤務した後、福岡市南区鶴田で開業してはや15年になります。この地は高齢者の方も多く、近所の方たちとの結び付きも密で、患者さまは自分達の家族だという気持ちでお付き合いさせて頂いております。  
 スタッフは受付1人、DH4人、DA1人、DT1人、代診1人の合計8人で毎日わいわい楽しく診療しています。患者さまが言ってくださる「ありがとう」という言葉を聞くと、本当にこの仕事をしよかつたなと思えます。



代診の今井先生と一緒に

# 先輩方と父に支えられて

三箇 正賢 (18期生 / 医療法人三箇歯科医院(福岡県北九州市))



2人、衛生士4人、歯科助手2人、歯科技工士2人の構成となっております。自分では気付かなかったのですが声はもちろん最近では後ろ姿まで父そっくりらしく、診療の途中で「あら若先生やったん?」と患者さんに言われることもしばしばです。

よく親子で診療すると喧嘩が絶えないという噂を聞きますが、一度ももめたことがありません。手前みそではありませんが、本当に尊敬できる父がいてくれることを誇りに思います。

また所属している八幡歯科医師会は原田孝昭副会長をはじめ素晴らしい先輩がたくさんおられ、様々なご教授をいただきとても充実した日々を過ごせております。

また、福岡歯科大学福岡県北同窓会の会計をさせて頂き矢野尚一会長のご指導のもと会務にはげんでおります。

これからも素晴らしい父と先輩方に助けてもらいながら地域医療に貢献できるように日々精進していく次第です。

最後になりましたが、皆様のご健康ご活躍を心よりお祈り申し上げます。

**み** なさまこんにちは。18期生の三箇正賢と申します。卒業後、九州歯科大学小児歯科学講座で木村光孝元教授のご指導のもと学位を取得させていただきました。大学院時代は宮崎を除く九州各県、沖縄、山口、島根、神奈川とあらゆる診療所でバイトをさせていただき貴重な臨床経験を積ませて頂きました。  
 学位取得後、実家である北九州市八幡西区の医療法人三箇歯科医院の副院長として勤務しております。スタッフは常勤歯科医師が父と私、非常勤歯科医師が



同窓会の会計としても活躍中

FROM STUDENTS 学生からのメッセージ

今、思うこと

酒井 亜希子 (大学院4年)

私は、成育小児歯科学分野に所属しており、生体材料学分野で研究しています。大学院四年生となり終わりが見えてきました。この機会に、今までを振り返ってみようと思います。

「出会い」について思い返せば、研修医時代の院外研修先の先生方やアルバイトをさせてもらった医院の先生方やスタッフの皆さんから、様々な事を学ばせてもらいました。また、研究のほうでは、九州大学生体材料学分野の先生方や留学生の方達から、多くの事を教えてもらいました。人と出会う事で、多くの事に気付かされ人間としての幅を少しずつ広げてもらったと感じています。

また最近の事になりますが、歯科理工学会九州支部夏期セミナーというものに参加しました。このセミナーは、大学や開業医の先生方、業者の方などが参加し、各々の研究成果を発表し意見交換などを行うものです。参加大学の中に釜山大学も含まれていて、釜山大学の先生と知り合うことができました。釜山大学の現状や韓国の事を知ることで、日本と違っているもの、そして変わらないものも感じ、韓国という国、さらに韓国の歯科に対する興味が沸きました。

このような出会いを与えてくださった成育小児歯科学分野と歯科医療工学分野の先生方に感謝です。私がまだ大学院に入ったばかりの頃、大学院の先輩が「きっと、大学院に行って良かったと思うようになる」と言われていました。大学院を終えるその時まで諦めずにいたら、最後に振り返った時にきっとそう思うはずですよ。

大学院時代に出会ってお世話になった先生方へ感謝を表すためにも、頑張らなければならないと思っています。



視野を拡げてくれたソフトボール部

神谷 治伸 (大学4年)

私はソフトボール同好会に所属し、今キャプテンをやっています。キャプテンという立場では部活のことを考えることで、今までの学生生活では経験できなかったことが色々経験できました。私たちは他の部活のようにオールデンタルという歯学生だけの大会はないのですが、その代わりに早良区と西区のソフトボール大会に参加しています。部員が皆、この大会で勝つことを目標にして日々練習しています。でも、練習ばかりでなく毎年春と夏に合宿を兼ねた旅行に行ったり、新入生歓迎などでバーベキューをしたり、ヤフードームへ野球観戦に行ったりと楽しみながらやっています。そのような楽しい仲間たちですが、キャプテンとしてはまわりを見ながらみんなをまとめていかなければいけないので、今までただ一方的な考え方しかできていなかった自分に気づかされました。

だからこそ勉強面でも、歯科医師としての将来について思い描くとき、真正面の道だけしか見えていなかったのが、他の道もたくさん見えるようになり、勉強も楽しく思えるようになりました。

今の私の目標は、CBTとOSCEを無事突破し、その後控える春のソフトボール大会でチームの仲間たちと優勝することです。



FROM PARENTS 保護者様からのメッセージ

学生に対する取り組みが、細やかで真摯

14年前に長女が入学し、学生共済会の役員をさせていただいていた折、なんとすぐれた組織が運営されているのかと感嘆したことを思い出します。今また、末息子がお世話になっております。そこで父兄後援会で、学長先生をはじめとする諸先生方のお話を直接伺う機会が増え、学生に対する取り組みが、細やかで真摯だと感じております。また、学校職員の方々の、学生を思う働きに感心するとともに感謝致しております。同窓会においてもまた学生の学びの場をよりよくするための活動が行われています。

東日本大震災と原発事故のいわゆる風評被害により原発近くの大学では大幅な定員割れをきたしております。これでは大学運営自体が成り立つのだろうかとお人ごとながら心配になる状況です。この様な自然環境は人知の及ぶところではないのですが、幸いにも福岡大は自然環境においても憂う点はないと思います。

さあ学生諸君、君たちが学ぶための環境は整っている。後は君たちが学習するだけです。

ただ単に歯科医師数を調整する為の、資格試験とは言い難い国家試験に振り回されず、より多くのことを、人として歯科医師として学んで下さい。そして学生生活を十分楽しんでください。私たち保護者はそのためには努力を惜しみません。しかし学ぶのは学生諸君、君たちです。



白本 光七 様  
(父兄後援会理事)

後輩達へ、また父兄として、今、感じること

国家試験合格者数を2400名に限定する方針、国民皆保険制度を守ろうとして予算の枠内で現場の歯科医師に苦難を強いる方針、イヤだったら保険治療をしなればいいとでも言いたげな数々の態度…暗く、僻易とする話題だけが世の中を駆け巡っております。

しかし、明るい話題と言えば九州7県の中で佐賀、大分の2県で先輩が県歯科医師会会長になられたことくらいでしょうか。開学から時間は経ちましたが、同窓生は様々な分野で、他大学を凌駕する勢いをみせています。今から狭き門の歯科医師を目指す後輩達に、また大学教員の先生方に願うことは、素直にハイと言える人となって欲しい、また、そういう学生達を育てて欲しい、ということです。現在、雇用する機会も多いのですが、組織への向上の“欲”ではなく、“我欲”しか感じられない人も時々います。もう、歯科医師という資格だけで勤務時間を自分の為だけに費やしても、給与は発生しない、自分に見合う報酬を成果として達成しなければいけない時期なのです。素直に人の話を聞き、実践し、オールマイティに仕事を選ばず、日々向上する、そういう歯科医師の卵を育てて頂ければと思います。


一方、今は歯科医師にとってチャンスなのです。口腔は最初の消化器、呼吸器の入り口であり、アゴの歪みや習癖などは形態や咀嚼・嚥下、全身の姿勢の歪みまで、機能に大きく影響します。また顔面・口腔には不定愁訴が発生します。それを治せる、直せる、エキスパートは歯科医師(口腔歯医学医)しかいないのです。歯の治療痕やポケット深さを計測し、主訴の歯を削合・抜髄・充填したり、義冠・義歯を装着するだけの狭い領域が仕事ではありません。他の歯科分野への選択と集中、逆転の発想の時期は迫りつつあります。その時代に適応できる素直な、バランス感覚の良い学生達を育てて頂きたい、また日本で唯一の特色ある、臨床に強い私立歯科大学であって欲しいと切に願っています。



下田 恒久 様  
(父兄後援会副会長)


平成24年度 入学試験日程

福岡歯科大学

歯学部								大学院 歯学研究科
区分	推薦・指定校推薦入試	一般入試A日程	センター試験利用入試1期	一般入試B日程	センター試験利用入試II期	AO入試II期	学士等編入学	二次募集
募集人員	約15名	約35名	約4名	約5名	約4名	約3名	若干名	18名
願書受付期間	H.23.10.24(月)～11.11(金)	H.24.1.4(水)～30(月)		H.24.1.23(月)～2.17(金)	H.24.1.23(月)～2.15(水)	H.24.2.22(水)～3.13(火)	H.23.10.31(月)～11.24(木)	H.24.1.23(月)～2.10(金)
試験日	H.23.11.12(土)		H.24.2.2(水)		H.24.2.21(火)		H.23.11.28(月)	H.24.2.16(水)
合格発表日	H.23.11.16(水)	H.24.2.6(月)	H.24.2.8(水)	H.24.2.22(水)		H.24.3.15(木)	H.23.11.30(水)	H.24.2.28(火)
試験会場	福岡歯科大学 及び新大阪丸ビル本館		福岡歯科大学 及び東京ガーデンバレス		福岡歯科大学			福岡歯科大学
問合せ先	〒814-0193 福岡市早良区田村2-15-1 福岡歯科大学学務課入試係 TEL.092-801-1885(直通) FAX.092-801-0427 ●ホームページURL <a href="http://www.fdcnet.ac.jp/col">http://www.fdcnet.ac.jp/col</a> ●E-mail <a href="mailto:gakumu@college.fdcnet.ac.jp">gakumu@college.fdcnet.ac.jp</a> ●携帯電話用ホームページURL <a href="http://www.fdcnet.ac.jp/colhp">http://www.fdcnet.ac.jp/colhp</a>							 ◀携帯電話からのアクセスはこちらから!

福岡医療短期大学

歯科衛生学科									専攻科・口腔保健衛生学専攻		
区分	指定校推薦入試	公募推薦入試(I)	公募推薦入試(II)	一般入試A日程(社会人含む)	一般入試B日程(社会人含む)	一般入試C日程(社会人含む)	一般入試D日程(社会人含む)	AO入試(社会人含む)	一次募集	二次募集	三次募集
募集人員	約10名	約10名	約5名	約15名	約5名	若干名	若干名	約35名	約15名	約5名	若干名
願書受付期間	H.23.10.3(月)～13(木)	H.23.10.24(月)～11.1(火)	H.23.12.1(木)～8(木)	H.24.1.4(水)～27(金)	H.24.2.2(水)～15(水)	H.24.2.20(月)～3.7(水)	H.24.3.12(月)～26(月)	詳細は 入試係まで お問い合わせ ください。	H23.12.1(木)～12.8(木)	H23.12.15(木)～12.12(木)	H24.3.12(月)～3.26(月)
試験日	H.23.10.15(土)	H.23.11.3(木)	H.23.12.10(土)	H.24.2.1(水)	H.24.2.17(金)	H.24.3.9(金)	H.24.3.28(水)		H23.12.10(土)	H24.1.14(土)	H24.3.28(水)
合格発表日	H.23.10.21(金)	H.23.11.10(木)	H.23.12.15(木)	H.24.2.7(火)	H.24.2.22(水)	H.24.3.14(水)	H.24.3.29(木)		H23.12.15(木)	H24.1.19(木)	H24.3.29(木)
試験会場	福岡医療短期大学									福岡医療短期大学	

保健福祉学科									
区分	指定校推薦入試	公募推薦入試(I)	公募推薦入試(II)	一般入試A日程(社会人含む)	一般入試B日程(社会人含む)	一般入試C日程(社会人含む)	一般入試D日程(社会人含む)	AO入試(社会人含む)	
募集人員	約10名	約5名	約5名	約5名	若干名	若干名	若干名	約15名	
願書受付期間	H.23.10.3(月)～13(木)	H.23.10.24(月)～11.1(火)	H.23.12.1(木)～8(木)	H.24.1.4(水)～27(金)	H.24.2.2(水)～15(水)	H.24.2.20(月)～3.7(水)	H.24.3.12(月)～26(月)	詳細は 入試係まで お問い合わせ ください。	
試験日	H.23.10.15(土)	H.23.11.3(木)	H.23.12.10(土)	H.24.2.1(水)	H.24.2.17(金)	H.24.3.9(金)	H.24.3.28(水)		
合格発表日	H.23.10.21(金)	H.23.11.10(木)	H.23.12.15(木)	H.24.2.7(火)	H.24.2.22(水)	H.24.3.14(水)	H.24.3.29(木)		
試験会場	福岡医療短期大学								
問合せ先	〒814-0193 福岡市早良区田村2-15-1 福岡医療短期大学入試係 TEL.092-801-0439(直通) FAX.092-801-4473 ●ホームページURL <a href="http://www.fdcnet.ac.jp/jcol/">http://www.fdcnet.ac.jp/jcol/</a> ●E-mail: <a href="mailto:gakumuj@college.fdcnet.ac.jp">gakumuj@college.fdcnet.ac.jp</a> ●携帯電話用ホームページURL <a href="http://www.fdcnet.ac.jp/jcolhp">http://www.fdcnet.ac.jp/jcolhp</a>							 ◀携帯電話からのアクセスはこちらから!	

福岡歯科大学・福岡医療短期大学 平成23年度・オープンキャンパス

福岡歯科大学

福岡歯科大学では、7月31日と8月21日の2日間オープンキャンパス・入試説明会を開催しました。受験生を始め、歯学に興味をお持ちの高校2年生や1年生にも参加して頂きました。当日は学内施設見学、模擬実習・在学生や教職員との歓談会等が行われました。参加者からは、インプラントの模擬実習が楽しかったことや在校生の先輩方がとても優しくあったと嬉しかったと喜びの声を頂きました。



高校生等で、福岡歯科大学に興味のある方、歯学部に興味のある方に対して、随時、施設見学等を受け付けておりますので、右記までご連絡ください。

【連絡先】福岡歯科大学 学務課入試係  
〒814-0193 福岡市早良区田村2-15-1  
TEL:092-801-1885 FAX:092-801-0427  
E-mail: [gakumu@college.fdcnet.ac.jp](mailto:gakumu@college.fdcnet.ac.jp)

福岡医療短期大学

実施日 11月26日(土) 12月10日(土)

内容 ◎施設見学 ◎カリキュラム説明  
◎在学生の声紹介 ◎入学試験説明

入試資料・記念品配布!



メールでのお申込みはこちら



歯科衛生学科・歯磨き体験



保健福祉学科・介護施設見学

編集後記

長い間福岡学園の発展にご尽力された青野一哉常務理事が8月2日付で任期を終えられ、新たに水田祥代先生を常務理事に迎えました。また、被災地での支援活動、今後さらに推し進められる口腔医学の展開、口腔医療センターの設立計画など、今回は大きな記事がいくつもあり、編集部員は最後まで精力的に作業を続けました。それだけ、学園のアクティビティが高い状態にあるのだと思います。現在もいろいろなことが企画、展開されていますから、次々に記事をつくっていかねばいけません。これからたくさんの話題を皆様にお届けする予定ですので、お楽しみに。

キャンパス歳時記

盛りだくさんの内容で皆様のご来場をお待ちしています。

第7回健康まると福岡学園

日時 10月22日(土)・23日(日) 場所 福岡歯科大学

- 田の歯科祭 ● からだの科学展 ● 医科ミニ講座
- 講演会(地下鉄七隈線沿線3大学合同シンポジウム) ※23日のみ
- 歯科無料相談 ● 介護無料相談・介護施設見学 など

● 問合せ先:福岡歯科大学 企画課 電話:092-801-0411(内線508)